

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年8月14日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宇都宮市	代表者名	佐藤 栄一
担当者部署	総合政策部	連絡先電話番号	028-632-2094
担当者役職		担当者氏名	
住所	320-8540 栃木県宇都宮市旭1-1-5		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原田 智
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none">・RPAの導入に先立ち、既存の業務の見直しや業務改革が重要であることを改めて認識することができた。・自治体職員の立場から、経験談を踏まえつつ、わかりやすい内容でお話をいただいた。・RPAが実際に動く様子を研修内容に取り入れていただき、参加者の理解が深まった。
アドバイザーへの要望事項	RPAの活用や業務改革について、今後ご相談させていただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年8月7日	10時00分	15時30分	60	270
3-2. 派遣場所	会場名	宇都宮市役所14階14D会議室		最寄駅	JR宇都宮駅
	所在地	栃木県宇都宮市旭1-1-5			
	最寄駅からの交通手段	バス			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	158人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">・RPAについて、作業の自動化など、イメージやキーワードが先行しており、正確な実態を把握できていないため、実際の業務への活用が進んでいない。・RPAの具体的な活用事例や効果が十分に周知できておらず、各職員が担当業務レベルで実際に活用していく意識付けが出来ていない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	RPA等の最新のICTを積極的に活用した業務の効率化・高度化を図り、職員の働き方改革や作業時間の縮小などの生産性向上を目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">・RPAの導入に先立ち、既存の業務の見直しや業務改革が必要である。・業務改革をした上でこそRPAを導入した効果がでてくる。・RPAは現場で取り組む業務改革ツールとして非常に有効である。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	今年度の10月に予定しているRPAの実証実験に向けて、RPAについての概要や効果、導入時に必要な業務の見直しなどを理解することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	業務改善への意識付けはできたが、RPAの実務的な進め方は、さらに工夫が必要	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添「研修結果」のとおり	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	行政事務の効率化・高度化を図り、ひいては、市民サービスの向上や地域の活性化を図る	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

